

2年次「地域課題探究型学習発表会」 (令和7年2月4日)

昨年度同様、「理想の本巣市×松陽生にできること」という視点で、本巣市の課題の解決策をポスターセッションにて発表しました。1年次生、学校職員、地域ファシリテーターをはじめとする外部の方々にも御参観いただきました。人前で発表する経験ができ、さまざまな意見をいただく貴重な機会となりました。



▲本巣市による「本巣学」講演会(9月)

今年度は、「本巣学」の講演で提示された「本巣市の未来をつくる10の課題」から課題を選び、同じ興味を持つ生徒同士でグループを作りました。グループのメンバーはほぼ初対面という状態で、戸惑いながら自分たちの探究テーマの設定を行いました。12月には地域ファシリテーターの方々とは交流し、新たな切り口や糸口をいただきました。そこでのアドバイスを基に、多くのグループが校外でインタビューやアンケートなどの情報収集を行いました。校外で誰かに声をかけること、アンケートで思うような調査結果が得られなかったことなど、戸惑いや不安を感じながらの探究活動でしたが、発表会当日は自分たちの考えを一生懸命伝える姿が多く見られました。

この探究活動で目標とすることにより、「地元に関心を持ち、将来的に地域に貢献したいと考えるようになる力、地域の大人との関わりを通じて、コミュニケーション力や協働する力の育成」があります。普段は会話をしない同級生とも



▲発表する生徒(課題:エネルギー)

学びを共有する良き機会となり、年次の中での交流を深めることもできました。それまでの高校生活では経験できなかったフィールドワークで校外へ出て地域の大人と触れ合うことは、大きな財産となったことでしょう。また、地域の課題に目を向けることで、それまでは気付かなかった地域の新たな魅力にも気づき、視野を広げるきっかけになったことと思います。



▲地域課題探究型学習発表会の会場の様子



▲地域ファシリテーターとの交流(12月)

今回の発表会はゴールではなく、答えなき問いに対する探究過程のワンステップです。いただいた御意見や評価を基に、自分たちの提案した内容を自宅学習期間や春季休業中にさらに検証を重ね、充実した論文執筆に向かうことを期待しています。また、今回の探究活動で得た知見や経験を深化させ、高校卒業後の進路実現に活かしてほしいと願っています。



▲発表する生徒(課題:生活習慣病)



▲発表を聴く生徒や学校職員たち



▲地域の方との質疑応答